

## 平成 26 年度 公園利用者懇談会 会議録（概要）

開催日時：平成 27 年 3 月 13 日（金）14：30～15：50

場 所：鎌倉中央公園管理棟 研修室

出席者：委 員／ 岩田、小幡、黒川、飯田、奴田、金川、  
井上、小池、小島、加藤、大村、館下  
公園協会／土屋常務理事、森屋課長、中村係長、  
千田、野崎、平田、島崎

### 【会議の概要】

主催者である公園協会常務理事（兼事務局長）の挨拶、委員自己紹介、事務局職員紹介の後、次第のとおり進行し、その概要は次のとおり。

### 【報告事項等：鎌倉市公園協会事業運営状況について】

：鎌倉市公園協会から

鎌倉市公園協会が昭和 59 年に設立してから今日に至るまでの経過の口頭説明、公園数、都市公園の管理状況、わくわく花フェスタなど各種イベントの開催、市民交流、公園・街路樹愛護会、公園サポーター等公園活動団体への支援、緑の相談、ミニ園芸教室等の緑化啓発事業などの管理・運営についてパワーポイントによる説明があった。

### 【意見交換等】

《維持管理について》

- ：害虫のついた樹木を伐採してしまった例が他市であった。管理費用の面もあるが、簡単に伐採してしまうという方法でなく、緑を永く保存していくということが大切である。
- ：子どもの安全を守るために、公園の出入口に防犯カメラがあったほうがよい。自販機に設置している例もあるようだ。カメラの設置は県費の補助対象になるかもしれない。
- ：公園灯などの外灯が LED 化している。その光が水中昆虫・昆虫への影響をどのように与えるかわかっていないため、いろいろと配慮しながら管理していくことが大切である。

《公園利用について》

- ：高齢化が進む中で、中央公園に来るにもミニバスの本数が少なく、アクセスが悪い。ミニバスの運行自体も知らない市民が多いのではないか。利用者を増やすためにもっとミニバス運行の PR をした方がよい。
- ：団体での活動について、藤沢市のある公園を借用して行っている。鎌倉市では団体への貸出しはしないのか。
- ：公園の中での具体的な楽しみ方など周知するとよい。

《その他》

- ：台峯の区域について、人工的な整備なのか自然的整備なのか心配している。
- ：散在ガ池森林公園について、散在ガ池を鎌倉湖という呼び方もあるようだが、

どちらが正しいのか。

(協会)：鎌倉湖と呼ぶ方もいるようだが、正しくは、散在ガ池である。公園にはなるべく旧地名を残していきたい。

## 【その他】

### 《事務局》

：事務局より、他に意見要望等あれば、別紙「公園利用者懇談会意見送付書」によりファクシミリ等でご提出願いたい旨をお願いした。

以上をもって、公園利用者懇談会は終了した。

## 公園利用者懇談会 委員名簿

### 【管理サイド】

鎌倉自主探鳥会グループ	代表世話役
公園サポーター	代表
NPO法人山崎・谷戸の会	事務局長
鎌倉市公園・街路樹愛護協議会連絡会	地域代表

### 【利用者サイド】

鎌倉老人クラブ連合会	会長
鎌倉市社会福祉協議会	常務理事
鎌倉市立小学校教頭会	代表
鎌倉市立保育園園長会	代表
鎌倉市青少年指導員連絡協議会	副会長
鎌倉市体育協会	副会長

### 【安心・安全】

鎌倉市防犯協会	会長
---------	----

### 【鎌倉市】

鎌倉市都市整備部公園課	担当課長
-------------	------